

# IBM ThinkVision™ モニター L190

---



## L190

---

ユーザーズ・ガイド

日本語

## 第 1 版 (2004 年 12 月)

注：重要な情報については、本モニターに付属の「Monitor Safety and Warranty」マニュアルを参照してください。

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

電波障害自主規制 届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

お願い

本書の情報および、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず 29 ページの「特記事項および商標」をお読みください。

本書において、日本では発表されていない IBM 製品（機械およびプログラム）、プログラミング、およびサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、IBM がこのような製品、プログラミング、およびサービスを、必ずしも日本で発表する意図があることを示すものではありません。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

(URL は変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典：	IBM ThinkVision™ モニター L190
発行：	日本アイ・ビー・エム株式会社
担当：	ナショナル・ランゲージ・サポート

第 1 刷 2004.12

© Copyright International Business Machines Corporation 2004. All rights reserved.

# 安全に正しくお使いいただくために

本製品を安全に正しくご使用いただくために、このマニュアルには安全表示が記述されています。このマニュアルを保管して、必要に応じて参照してください。

## 絵表示について

本製品を正しくご使用いただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよび本製品への安全表示については、以下の絵表示をしています。

 <b>危険</b>	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。</p>
 <b>注意</b>	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。</p>

## 危険 / 注意ラベルの表示について

本製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがあるときは、安全上に関する危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

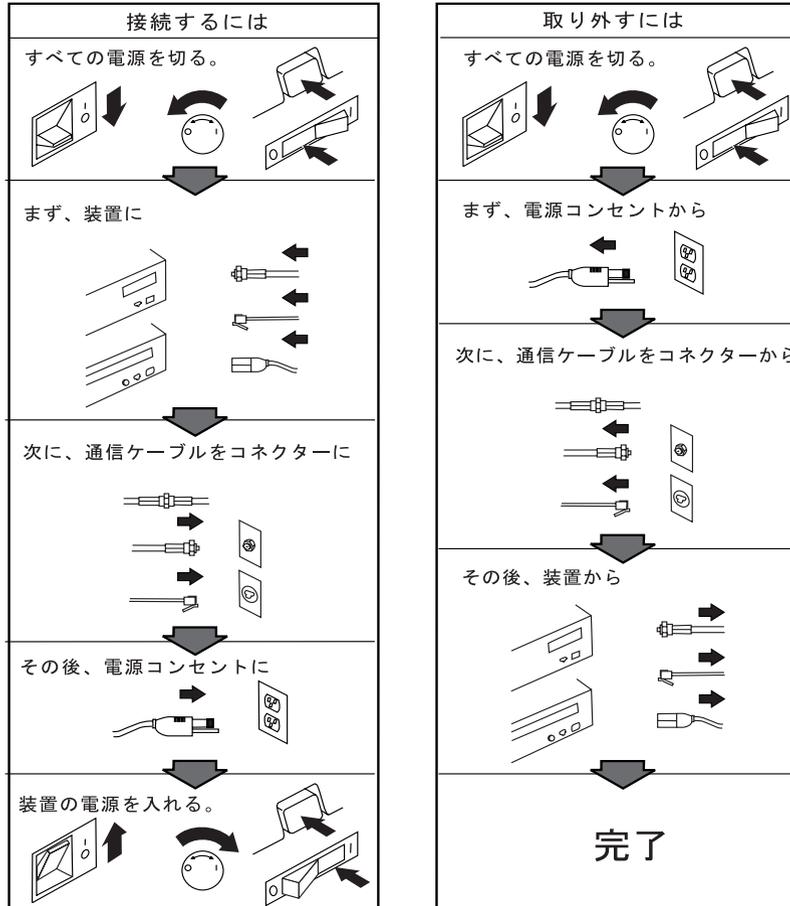
このマニュアルに記述されている以外に、危険または注意ラベルによる表示があるときは（たとえば製品上）、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

## 危険

- ・ 電源コードは、正しく配線され、適正な接地端子が付いている電源コンセントで使用してください。
- ・ 本製品に接続される機器もすべて、配線と接地が正しく行われているコンセントに接続してください。
- ・ 本製品には AC 電源スイッチが付いていません。モニターを電源から切り離すためには、電源コンセントからプラグを抜き取る必要があります。電源コンセントは、アクセスしやすい場所にあることが必要です。
- ・ この機器の中にある電源のカバーは開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。
- ・ この機器を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ・ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。タコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ・ 付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードをほかの機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ・ 電源スイッチやその他の制御部分をぬらさないでください。湿気があるとこれらの部品は壊れることがあり、電気による危険を招くことがあります。
- ・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- ・ 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災、感電のおそれがあります。
- ・ コンピューターの構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続、およびテレビのアンテナ線接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- ・ 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
- ・ 万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入ったときは、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

# ⚠ 危険

- ケーブル類の取り付け、取り外し順序。  
電源コード、電話ケーブル、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または製品のカバーを開けたり装置を接続したりするときには、以下のようにケーブルの接続、取り外しを行ってください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの取り外しはしないでください。

## 危険

- ・ 液晶ディスプレイ (LCD) はガラス製なので、乱暴に扱ったり落としたりすると壊れることがあります。液晶ディスプレイが壊れて内部の液体が眼に入ったり、手についたりした場合は、すぐに水で 15 分以上洗ってください。その後、何らかの症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。

## 注意

- ・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください。)
- ・ 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ・ 長期間使用しないときは、電源プラグを AC コンセントから抜いておいてください。
- ・ 本製品を移動するときには、取り扱いに注意してください。
- ・ パネルの表示面を水平にして使用しないでください。
- ・ 液晶ディスプレイ内の蛍光灯の中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に液晶ディスプレイを捨てないでください。ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

## 目次

---

安全に正しくお使いいただくために .....	iii
モニターの設定アップ .....	3
製品説明 .....	3
取扱上の説明 .....	3
Kensington セキュリティー・スロット .....	4
設置場所 .....	5
モニターの位置の調整 .....	5
作業姿勢 .....	6
モニターの手入れ .....	6
モニターの接続 .....	7
モニターの電源をオンにする .....	8
デバイス・ドライバーのインストール .....	9
Windows 95 または Windows 98 へのデバイス・ドライバーのインストール .....	9
Windows 2000 または Windows Me へのデバイス・ドライバーのインストール .....	10
Windows XP へのデバイス・ドライバーのインストール .....	12
自動画像セットアップ .....	13
画像セットアップ .....	13
DOS での画像セットアップ .....	14
Windows 95、Windows 98、Windows NT、Windows 2000、Windows Me、または Windows XP での画像セットアップ .....	15
手動画像セットアップ .....	17
LCD モニターの調整 .....	18
ユーザー・コントロール .....	18
オンスクリーン・ディスプレイ (OSD) のコントロール .....	19
詳細情報 .....	22
表示モード .....	22
省電力機能 .....	23
製品の廃棄処理について .....	23
トラブルシューティング .....	24
ヘルプおよびサービス情報 .....	26
仕様 .....	27
保守情報 .....	28
特記事項および商標 .....	29



# モニターのセットアップ

## 製品説明

本モニターは、TFT LCD カラー・モニターです。  
本モニターを使用するには、60Hz で SXGA 1280 x 1024、XGA 1024 x 768、SVGA 800 x 600、または VGA 640 x 480 をサポートする、適切な内蔵ビデオ・サブ・システムまたはビデオ・カードを装備したコンピューターが必要です。

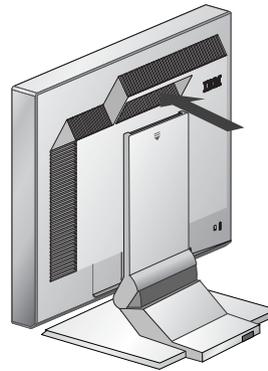
モニターのほかに、本パッケージには次のものが含まれています。

- ・ *User's Guide and Installation Files CD*
- ・ Monitor Warranty and Safety マニュアル
- ・ L190 カラー・モニター・セットアップ・ガイド
- ・ 電源コード
- ・ L190 カラー・モニター
- ・ アナログ・インターフェース・ケーブル（モニターに接続済）

## 取扱上の説明

モニターは、スクリーンの内側を持って支えないでください。液晶表示ディスプレイはガラス製なので、乱暴に扱ったり、強い圧力を加えると壊れるおそれがあります。

1. モニターを持ち上げる場合は、必ず下の図に示す場所に手を添えて持つようにしてください。

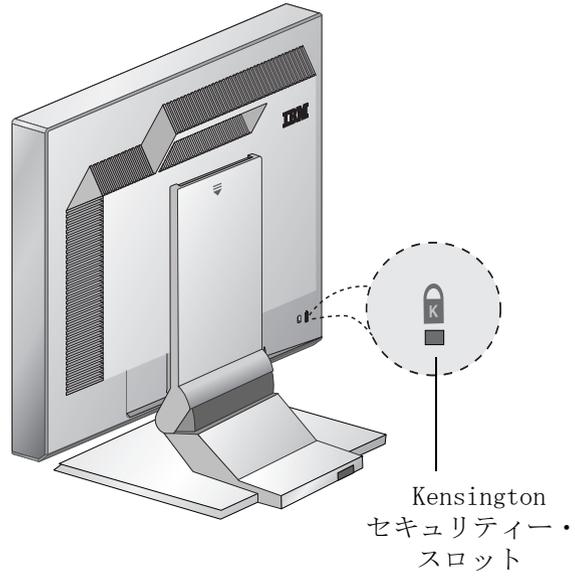


2. 本モニターを初めてお使いになる場合は、最初に画面前面の透明な保護フィルムをはがしてください。

---

## Kensington セキュリティー・スロット

このスロットを使用して、ロック・ケーブルに接続できます。ロック・ケーブルは、多くのコンピューター販売店で別途購入可能です。



## 設置場所

**i** モニターを設置する前に考慮する必要があることについて説明します。

### 高さ

モニターの高さは、ワークステーションに向かって座ったときに画面の上部が目の高さよりも少し下になるように調整してください。

### 向き

1. 窓や照明の反射が最も少ない場所、通常は窓に対して直角の位置を選んでください。
2. モニターは、使うときに体をねじらなくてもいいように真正面に置いてください。
3. 見やすい角度に傾けてください。

## モニターの位置の調整

**i** 本フラット・パネル・モニターは、モニターを最も見やすい位置にするために、さまざまな方向に調整することができます。

### 表示角度

下図 A に示すように、画面を前後に傾けることができます。

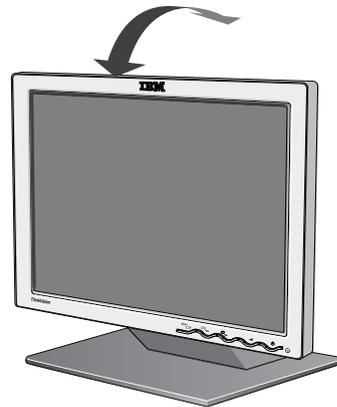


図 A

---

## 作業姿勢

**i** より快適にお使いいただき、疲労を少なくするためのアドバイスです。

### 休息

定期的に休息をとってください。コンピューター・ワークステーションの長時間の使用は疲れます。姿勢を変え、時々立ち上がってストレッチをしてください。

### 背中

イスに深くかけて、背もたれを使ってください。

### 手

キーボードを使用するときは、腕は水平に近く、手首はまっすぐになるように、イスの高さを調整します。ひじを体に付けて、上腕部に力が入らないようにします。

キーボードのキーは、手や指に力を入れずに軽く押してください。キーボードの手前に、タイプしていないときに手首を休めるためのスペースを設けてください。リストパッドの使用も考慮してください。

### 視力

モニターでの作業は、長時間続けて行うと目に負担がかかります。時々スクリーンから目を離して遠くを見てください。また、定期的に目の検査を受けてください。

### スクリーンの設定

スクリーンの輝度とコントラストを、見やすいように調整してください。日中の明るさの変化に合わせて調整する必要が生じることもあります。多くのアプリケーション・プログラムは、お客様がカラーの組み合わせを選択できるようになっており、画面を見やすくするのに役立ちます。詳細については、『ユーザー・コントロール』（18 ページ）を参照してください。

---

## モニターの手入れ

モニターの保守を行う前に、必ず電源コードを抜いてください。次の手順でモニターの汚れを落とします。

- ・柔らかい布で装置のカバーおよび画面をやさしく拭きます。溶剤や研磨剤は使用しないでください。
- ・モニターには、絶対に水やその他の液体をかけないでください。
- ・弱い中性洗剤で湿らせた布で指紋や油を拭き取ります。
- ・IBM のモニターまたは他の電気機器の清掃に可燃性の清掃用具を絶対に使用しないでください。
- ・スクリーンの表面を、ボールペンやドライバーなどの鋭利なものや、ざらざらしたもので擦ったり、触れたり、叩かないでください。受像管に傷つきます。
- ・帯電防止剤や同様の添加剤を含む洗浄液は、スクリーンのコーティングに傷をつける可能性があるので使用しないでください。

- ・洗剤やその他の液体を直接スクリーンに付けることは絶対にしないでください。布を湿らせて拭いてください。

## モニターの接続

この手順を実行する前に、「Monitor Safety and Warranty Information Manual」にある「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。

1. コンピューターとすべての接続装置の電源を切ります。次に、コンピューターとすべての接続装置から電源コードを抜きます。
2. 信号ケーブルを接続します。
  - ・アナログ信号ケーブルはすでにモニターに接続されています（図 A の ① を参照）。
  - ・アナログ信号ケーブルを接続するときは、モニターに接続済みの信号ケーブルの空いている端をコンピューターの 15 ピン・モニター・ポートに接続し、ねじを締めます。②

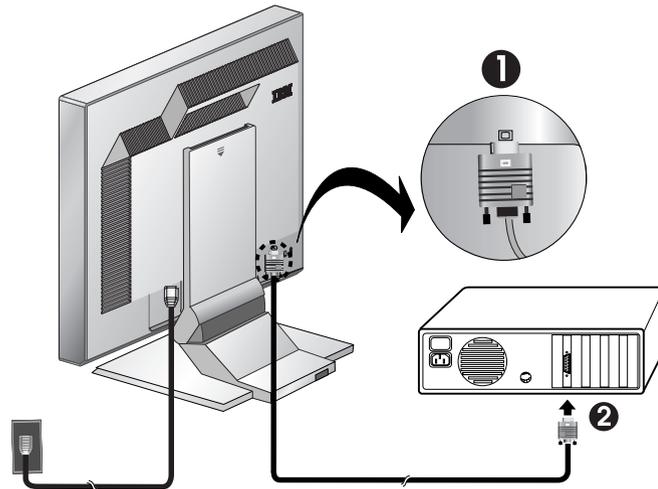


図 A

3. 電源コードをモニターに接続してから、接地が正しく行われたコンセントに差し込みます。次に、電源コードをコンピューターとすべての接続装置に再度接続します。

---

## モニターの電源をオンにする

1. コンピューターの電源をオンにします。
2. 画面枠の前面にある「」というマークの付いた電源スイッチを押して離して、モニターの電源をオンにします。
  - ・モニターの電源を切るには、もう一度この電源スイッチを押して離します。
3. デバイス・ドライバーを更新またはインストールするには、『デバイス・ドライバーのインストール』(9 ページ) の説明に従います。
4. アナログ・コネクタを使用している場合は、『自動画像セットアップ』(13 ページ) の説明に従って画像セットアップを実行してください。

# デバイス・ドライバーのインストール

## Windows 95 または Windows 98 へのデバイス・ドライバーのインストール

15 ページに記載されている Windows 95 または Windows 98 の画像セットアップに進む前に、このセクションの内容を実行する必要があります。

**i** LCD モニターは CRT モニターと異なり、リフレッシュ・レートを速くしても表示のクオリティは向上しません。最適なパフォーマンスを得るには、60Hz のリフレッシュ・レートで 1280 x 1024 の解像度を使用するか、60 Hz のリフレッシュ・レートで 640 x 480 の解像度を使用してください。

Microsoft® Windows® 95 または Windows 98 にデバイス・ドライバーをインストールするには、次のようにします。

注：

Windows 95 または Windows 98 でプラグ・アンド・プレイ機能を使用するには、「User's Guide and Installation Files CD」からファイルをダウンロードする必要があります。

1. コンピューターとすべての接続装置の電源を切ります。
2. モニターが正しく接続されていることを確認します。
3. モニターの電源をオンにして、次にシステム・ユニットの電源をオンにします。コンピューター上で Windows 95 または Windows 98 オペレーティング・システムが起動するのを待ちます。

コンピューターのプラグ・アンド・プレイ・コードにより、システムのハードウェアが変更されているという警告が出されることがあります。これは、コンピューターが新しいモニターを初めて検出したことを意味します。

4. 「スタート」→「設定」→「コントロール パネル」をクリックしてから「画面」アイコンをダブルクリックして、「画面のプロパティ」ウィンドウを開きます。
5. 「設定」タブを選択します。
6. Windows 95 を使用している場合は、次のようにします。
  - a. 「ディスプレイ タイプの変更」ボタンをクリックします。
  - b. 「モニタ タイプの変更」ボタンをクリックします。
  - c. ステップ 7 に進みます。

Windows 98 を使用している場合は、次のようにします。

- a. 「詳細設定」ボタンを選択します。
  - b. 「モニタ」タブを選択します。
  - c. 「変更」ボタンをクリックして「デバイス ドライバの更新ウィザード」を開き、「次へ」ボタンを選択します。
  - d. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。
  - e. ステップ 7 に進みます。
7. 「User's Guide and Installation Files CD」を CD ドライブに挿入し、「ディスク使用」ボタンをクリックします。
  8. 「OK」をクリックします。
  9. CD ドライブのドライブ名の文字が選択されていることを確認して、「DRIVERS」フォルダーを選択します。
  10. 「IBM L190 モニタ」を選択して「OK」をクリックします。ファイルが CD からハード・ディスクへコピーされます。

11. 開いているウィンドウをすべて閉じて、CD を取り出します。
12. コンピューターを再起動します。  
システムは自動的に最大のリフレッシュ・レートを選択し、また該当するカラー・マッチング・プロファイルを選択します。

---

## Windows 2000 または Windows Me へのデバイス・ドライバーのインストール

15 ページに記載されている Windows 2000 または Windows Me の画像セットアップに進む前に、このセクションの内容を実行する必要があります。

Microsoft Windows 2000 Professional または Microsoft Windows Millennium Edition (Me) にデバイス・ドライバーをインストールするには、次のようにします。

注：

Windows 2000 または Windows Me でプラグ・アンド・プレイ機能を使用するには、「User's Guide and Installation Files CD」からファイルをダウンロードする必要があります。

**i** LCD モニターは CRT モニターと異なり、リフレッシュ・レートを速くしても表示のクオリティーは向上しません。最適なパフォーマンスを得るには、60Hz のリフレッシュ・レートで 1280 x 1024 の解像度を使用するか、60 Hz のリフレッシュ・レートで 640 x 480 の解像度を使用してください。

1. コンピューターとすべての接続装置の電源を切ります。
2. モニターが正しく接続されていることを確認します。
3. モニターの電源をオンにして、次にシステム・ユニットの電源をオンにします。コンピューター上で Windows 2000 または Windows Me オペレーティング・システムが起動するのを待ちます。
4. 「スタート」→「設定」→「コントロール パネル」をクリックしてから「画面」アイコンをダブルクリックして、「画面のプロパティ」ウィンドウを開きます。
5. 「設定」タブを選択します。
6. 「詳細設定」ボタンをクリックします。
7. 「モニタ」タブを選択します。
8. 「プロパティ」ボタンをクリックします。
9. 「ドライバ」タブを選択します。
10. 「ドライバの更新」ボタンをクリックして「デバイス ドライバの更新 ウィザード」を開き、「次へ」ボタンをクリックします。
11. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。
12. 「User's Guide and Installation Files CD」を CD ドライブに挿入し、「ディスク使用」ボタンをクリックします。
13. 「OK」をクリックします。
14. CD ドライブのドライブ名の文字が選択されていることを確認して、「DRIVERS」フォルダーを選択します。
15. 「IBM L190 モニタ」を選択して「OK」をクリックします。ファイルが CD からハード・ディスクへコピーされます。
16. 開いているウィンドウをすべて閉じ、CD を取り出します。

17. コンピューターを再起動します。  
システムは自動的に最大のリフレッシュ・レートを選択し、また該当するカラー・マッチング・プロファイルを選択します。

---

## Windows XP へのデバイス・ドライバーのインストール

15 ページに記載されている Windows XP の画像セットアップに進む前に、このセクションの内容を実行する必要があります。

Windows XP にデバイス・ドライバーをインストールするには、次のようにします。

注：

Windows XP でプラグ・アンド・プレイ機能を使用するには、『*User's Guide and Installation Files CD*』からファイルをダウンロードする必要があります。

**i** LCD モニターは CRT モニターと異なり、リフレッシュ・レートを速くしても表示のクオリティは向上しません。最適なパフォーマンスを得るには、60Hz のリフレッシュ・レートで 1280 x 1024 の解像度を使用するか、60 Hz のリフレッシュ・レートで 640 x 480 の解像度を使用してください。

1. コンピューターとすべての接続装置の電源を切ります。
2. モニターが正しく接続されていることを確認します。
3. モニターの電源をオンにして、次にシステム・ユニットの電源をオンにします。コンピューター上で Windows XP オペレーティング・システムが起動するのを待ちます。
4. 「スタート」-> 「設定」-> 「コントロール パネル」-> 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックしてから「画面」アイコンをダブルクリックして、「画面のプロパティ」ウィンドウを開きます。
5. 「設定」タブを選択します。
6. 「詳細設定」ボタンを選択します。
7. 「モニタ」タブを選択します。
8. 「プロパティ」ボタンを選択します。
9. 「ドライバ」タブを選択します。
10. 「ドライバの更新」ボタンをクリックしてから「ハードウェアの更新ウィザード」を開き、「次へ」ボタンをクリックします。
11. 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。
12. 『*User's Guide and Installation Files CD*』を CD ドライブに挿入し、「ディスク使用」ボタンをクリックします。
13. 「OK」をクリックします。
14. CD ドライブのドライブ名の文字が選択されていることを確認して、「DRIVERS」フォルダーを選択します。
15. 「IBM L190 モニタ」を選択して「OK」をクリックします。ファイルが CD からハード・ディスクへコピーされます。
16. 開いているウィンドウをすべて閉じ、CD を取り出します。
17. コンピューターを再起動します。

システムは自動的に最大のリフレッシュ・レートを選択し、また該当するカラー・マッチング・プロファイルを選択します。

# 自動画像セットアップ

## 画像セットアップ

このセクションの内容を実行する前に、適切なモニタ・ドライバをインストールしておくことが非常に重要です。(9 ページ および 12 ページ参照)

**i** セットアップ CD に入っているセットアップ・ユーティリティーは、テスト用のドット・パターンを表示します。

**i** 画像セットアップの手順では、モニターを約 15 分間温める必要があります。これは、通常の操作では必要ありません。

**i** ご使用のコンピューターでモニターに付属するセットアップ CD が実行できない場合は、17 ページの手動画像セットアップを参照してください。

**i** 画像セットアップは、現行の画面モードにしか適用されません。新しいモードを選択したときは、このセクションの手順を繰り返して、モニターをリセットする必要があります。

本モニターを初めて使用する場合は、アナログ入力用の自動セットアップを必ず行ってください。この手順では、画像の褪色やにじみを起こさずにコンピューターからのビデオ信号をモニターが処理するようにセットアップします。自動セットアップを実行すると、設定値は保管されます。モニターの電源を入れるたびにその設定値が使用されます。

IBM 「User's Guide and Installation Files CD」には、表示画像を最適化するためのセットアップ・ユーティリティーが入っています。このユーティリティーは、コンピューターのオペレーティング・システムにより操作方法が異なります。お使いのオペレーティング・システムごとに画像セットアップを選択して実行することができます。つまり、モニターを Windows で使用したり DOS (DOS ウィンドウではありません) で使用したりすることがある場合、Windows と DOS の両方で画像セットアップを実行する必要があります。画像セットアップは、Windows と DOS のどちらを先に行ってもかまいません。

画像セットアップを始める前に、コンピューターのビデオ・モードの設定が 22 ページの表に記載されたサポート対象の画像解像度の範囲に入っているかどうかを確認します。

お使いの画面モードごとに画像セットアップを実行する必要があります。

---

## DOS での画像セットアップ

**i** モニターがスタンバイ・モードの場合、そのモニターが温まるのを待っている間に、自動的にオフになることがあります。これが起こった場合、モニターの電源を切り、数秒たってからもう一度電源を入れてください。

**i** PC-DOS/V を使用している場合、コマンド・プロンプトに「CHEV US」と入力してから、ENTER を押して、U.S. モードに変更してください。

**i** ドット・パターンのサイズと種類は、画面解像度によって異なります。

**i** 画面がフリッカーする場合は、フリッカーが収まるまでセットアップを数回繰り返すか、17 ページの手動画像セットアップの手順に従って手動で調整してください。

DOS でモニターを自動的にセットアップするには、次のようにします。

- 最初にモニターの電源を入れてから、コンピューターの電源を入れます。  
「シグナル・ケーブルの確認 (Check Signal Cable)」というメッセージが表示された場合、または何も表示されない場合は、以下をチェックしてください。
    - ビデオ・インターフェース・ケーブルが正しく接続されているか
    - 正しいビデオ・アダプター・カードが取り付けられているか。
    - お使いのコンピューター用にサポートされている、正しい表示モードが選択されているか。
  - モニターの画面温度が安定するまで、約 15 分間待ちます。
  - 「User's Guide and Installation Files CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。
  - DOS 全画面表示のコマンド・プロンプト画面を表示します。
  - d:¥TESTPAD と入力します（ここで、d は CD-ROM ドライブ名の文字です）。
  - ENTER を押します。
  - セットアップしたいカラーまたはテキスト・モードの番号を選択します。
  - セットアップしたいビデオ・モードの番号を選択します。この手順は、必要なカラーとビデオ・モードの数だけ繰り返すことができます。
  - ドット・パターンが表示されたら、モニター下部の「←」ボタンを押します。自動セットアップ手順が開始され、表示されたドット・パターンで表示設定が最適化されます。自動調整が進行する間、画面が一時的に暗くなる場合があります。終了すると、画像セットアップのメッセージが消え、画面は通常の表示に戻ります。
  - 画像セットアップのテスト・パターンを消すには、キーボードの Esc キーを押してください。
  - コマンド・プロンプトに「Exit」と入力して、Windows に戻ります。
- 他のオペレーティング・システムを使用している場合、それらのシステムに該当する自動セットアップを実行します。『Windows 95、Windows 98、Windows NT、Windows 2000、Windows Me、または Windows XP での画像セットアップ』（9 ページ）も参照してください。

## Windows 95、Windows 98、Windows NT、Windows 2000、Windows Me、または Windows XP での画像セットアップ

**i** モニターがスタンバイ・モードの場合、そのモニターが温まるのを待っている間に、自動的にオフになることがあります。

Windows 95、Windows 98、Windows NT、Windows 2000、Windows Me、または Windows XP でモニターを自動的にセットアップするには、次のようにします。

- 最初にモニターの電源を入れてから、コンピューターの電源を入れません。  
「シグナル・ケーブルの確認 (Check Signal Cable)」というメッセージが表示された場合、または何も表示されない場合は、以下をチェックしてください。
  - ビデオ・インターフェース・ケーブルが正しく接続されているか
  - 正しいビデオ・アダプター・カードが取り付けられているか。
  - お使いのコンピューター用にサポートされている、正しい表示モードが選択されているか。
- モニターの画面温度が安定するまで、約 15 分間待ちます。
- アイコン・バーとツールバーが表示されている場合、それらを画面下部にドラッグします。
- 「User's Guide and Installation Files CD」を CD-ROM ドライブに挿入します。
- お使いのコンピューターにインストールされているオペレーティング・システムをチェックし、下の表でそれに該当する指示に従ってください。

**i** ドット・パターンのサイズと種類は、画面解像度によって異なります。

### オペレーティング・システムとインストール手順

オペレーティング・システム	ステップ 1	ステップ 2	ステップ 3
Windows 95	「プログラムマネージャ」を開く。		<b>e:</b> ¥TESTPAT と入力して (e は CD-ROM ドライブのドライブ名の文字です)、Enter を押します。
Windows 98、Windows 2000、Windows NT、Windows Me または Windows XP	「ファイル名を指定して実行」を選択する。	「ファイル名を指定して実行」を選択する。	

- ドット・パターンが表示されたら、モニター下部の「」ボタンを押します。画像セットアップ手順が開始され、表示されたドット・パターンで表示設定が最適化されます。

- ・自動調整が進行する間、画面が一時的に暗くなることがあります。終了すると、画像セットアップのメッセージが消え、画面は通常の見返しに戻ります。

7. 画像セットアップのテスト・パターンを消すには、キーボードの Esc キーを押してください。

これで Windows 用のモニターの設定が完了しました。DOS オペレーティング・システムを使用している場合は、『DOS での画像セットアップ』(14 ページ)に進んでください。

# 手動画像セットアップ

**i** モニターがスタンバイ・モードの場合、モニターが温まるのを待っている間に、自動的にオフになることがあります。

通常は、自動画像セットアップを使ってセットアップ手順を完了できますが、画像セットアップの実行後も画像がゆがんでいる場合や、お使いのシステムでセットアップ CD を実行できない場合には、手動画像セットアップを実行します。

手動で画像設定を調整するには、以下のようになります。

1. モニターの画面温度が安定するまで、約 15 分間モニターの電源を入れたままにします。
2. 最も頻繁に使用する画像を画面に表示します。
3. モニター下部の「OSD 実行」ボタン「」を押して、OSD 初期メニューを表示します。
4. 「右矢印」ボタン「」を使って「画像セットアップ」アイコン「」を選択し、「OSD 実行」ボタン「」を押してその機能にアクセスします。
5. 「右矢印」ボタン「」を使って「Manual（手動）」を選択します。「OK」ボタン「」を 2 回押して「Clock（クロック）」を選択します。
6. 「矢印」ボタンを使って手動で画像のジッターやノイズを調整します。「OK」ボタン「」を押します。
7. 「OK」」を押し、「矢印」ボタンを使って「Phase（位相）」を調整して、「OK」」を押します。

再び「OK」」を押し、保存して終了します。次に、「EXIT」ボタン「」を 2 回押して OSD を終了します。

これでモニターのセットアップが完了しました。

# LCD モニターの調整

## ユーザー・コントロール

**i** 画像は、多数の表示モードにあわせて最適化されていますが、ユーザー・コントロールを使うと、画像をお好みに合わせて調整できます。



**i** 設定値は、調整後と、OSD の終了時に保管され、それ以降その値が有効になります。

### ユーザー・コントロール機能

アイコン	モニター・コントロール
	モニターの電源をオンまたはオフにします。
	OSD メイン・メニューを表示し、強調表示されているメニュー項目を選択します。
および	カーソルを動かしてアイコンを強調表示したり、調整を行います。
	現在の OSD メニューを終了します。

アイコン	直接アクセス機能
	輝度調整を表示します。
	自動的に画像セットアップを実行します。
	<b>コントロールのロックとアンロック</b> この機能を使用すると、輝度をユーザーが調整するときに、現在のコントロール設定値が不注意で変更されないように固定します。「実行」ボタン [] を押したままにします。OSD コントロールは、「実行」ボタン [] を 10 秒間押し続けることでいつでもアンロックできます。メッセージ「Menu is Unlocked (メニューがアンロックされました)」が表示されません。

## オンスクリーン・ディスプレイ (OSD) のコントロール

**i** LCD モニターは、一日の使用で最初に電源を入れたときに、温度が安定するまでに時間がかかります。パラメーターの正確な調整を行うには、画面の調整を行う前に、LCD モニターを 15 分以上オンにして温めてください。

ユーザー・コントロールで調整できる設定値は、オンスクリーン・ディスプレイ (OSD) に表示されます。「実行」ボタン「←」を押すと、OSD のメイン・メニューが表示されます。

### OSD の初期画面

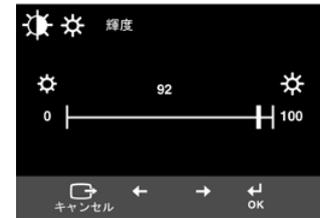
メイン・メニュー



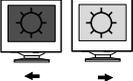
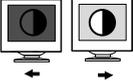
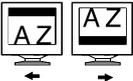
### サブメニュー



### 調整画面



## OSD 機能

OSD アイコン	説明	サブメニュー	コントロールと調整	
輝度/コントラスト	 輝度	輝度を調整します。		
	 コントラスト	コントラストを調整します。		
画像位置	 水平位置	画像を左右に移動します。		
	 垂直位置	画像を上下に移動します。		

OSD アイコン		説明	サブメニュー	コントロールと調整
 画像セット アップ	 自動	<p>画像セットアップ機能は、ビデオ信号のノイズのレベルを調整するために使います。ノイズがあると、画面上の水平方向の線やある範囲において、画像の一部が不安定になってジッターが見られたり揺らいだりする原因となります。これは、自動または手動で調整できます。</p>		<p>「自動」を選択すると、画像は自動的に調整されます。</p>
	 手動	<p>「手動」を選択した場合は、手動調整画面が表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロック</li> <li>・位相</li> <li>・保管</li> </ul>	<p>これを選択すると、表示のフォーカスを調整し、水平方向のノイズを取り除き、文字の画像を鮮明にします。</p>
 画像位置	 カラー	<p>ユーザーにとって最も見やすいカラー・モードを選択するか、必要な場合はカスタム・メニューを使用して色を微調整します。</p>	<p><b>事前設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6500K （赤みがかった白）</li> <li>・7200K （通常の白）</li> <li>・9300K （青みがかった白）</li> </ul>	
			<p><b>カスタム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤</li> <li>・緑</li> <li>・青</li> <li>・保管</li> </ul>	<p>赤の色調を増減します。</p> <p>緑の色調を増減します。</p> <p>青の色調を増減します。</p>

OSD アイコン		説明	サブメニュー	コントロールと調整
 オプション	 情報	モード、モデル名、シリアル番号およびマイクロコードの詳細情報を表示します。		
	 メニュー言語	言語の選択が関係するのは、OSDの言語だけです。OSD で使用する言語を 5 つの言語から選択してください。コンピューターで実行するその他のソフトウェアには影響しません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語</li> <li>・フランス語</li> <li>・イタリア語</li> <li>・ドイツ語</li> <li>・スペイン語</li> <li>・日本語</li> </ul>	
	 メニュー位置	OSD の画面上の位置を変更します。	デフォルト	OSD を画面の中央に移動します。
			カスタム <ul style="list-style-type: none"> <li>・H (水平)</li> <li>・V (垂直)</li> <li>・保管</li> </ul>	
	 リセット	リセットすると、すべての使用可能な機能が工場設定値に戻されます。注：言語は、言語メニューを通して調整しない限り、変更されません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンセル</li> <li>・リセット</li> </ul>	
	 アクセシビリティ	ボタン反応速度とメニュー時間切れ設定を変更します。	<b>ボタン反応速度</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフ</li> <li>・デフォルト</li> <li>・遅い</li> </ul>	ボタンの反応速度を調節します。
<b>メニュー時間切れ</b>			メニューが消えるまでに画面に残る時間の長さを調節します。	
終了		現在の OSD メニューを終了します。		

# 詳細情報

## 表示モード

**i** お使いのコンピューターを今まで CRT モニターで使用していて、現在の設定がフラット・パネル・モニターの表示範囲外の表示モードに構成されている場合は、CRT モニターを一時的に再接続し、コンピューターを再構成する必要がある場合があります（推奨 60Hz の 1280 x 1024）。

本モニターで使用される表示モードはコンピューターによって制御されません。表示モードの変更方法の詳細については、お使いのコンピューターの説明書を参照してください。

表示モードを変更すると、画像のサイズ、位置、および形状が変わる場合があります。これは普通の状態です。画像は画像セットアップとモニターのコントロール機能を使用して再調整できます。

CRT モニターでは、フリッカーを最小限に抑えるためにリフレッシュ・レートを高くする必要がありますが、TFT テクノロジーではその性質上フリッカーは起こりません。可能ならば、お使いのコンピューターの垂直リフレッシュ・レートを 60Hz、解像度を 1280 x 1024 に構成してください。

以下の表示モードについては、製造時に画像を最適化しています。

### 出荷時設定表示モード

解像度	リフレッシュ・レート	水平周波数
640 x 350	70.8 Hz	31.5 kHz
640 x 480	59.9 Hz	31.5 kHz
640 x 480	66.6 Hz	35.0 kHz
640 x 480	72.8 Hz	37.8 kHz
640 x 480	75.0 Hz	37.5 kHz
720 x 400	70.1 Hz	31.5 kHz
800 x 600	60.3 Hz	37.8 kHz
800 x 600	72.1 Hz	48.0 kHz
800 x 600	75.0 Hz	46.8 kHz
832 x 624	74.5 Hz	49.7 kHz
1024 x 768	60.0 Hz	48.3 kHz
1024 x 768	70.0 Hz	56.4 kHz
1024 x 768	75.0 Hz	60.1 kHz
1152 x 870	75.0 Hz	68.6 kHz
1152 x 900	65.9 Hz	61.8 kHz
1280 x 1024 •	60.0 Hz	63.9 kHz
1280 x 1024	70.0 Hz	74.4 kHz
1280 x 1024	75.0 Hz	79.9 kHz
1280 x 1024	76.0 Hz	81.1 kHz

注：VESA タイミングは、「VESA Display Monitor Timing Specification」バージョン 1.0、改訂 0.8 (1998/09/17) に詳しく記載

• 推奨

## 省電力機能

モニターで省電力機能を利用するには、コンピューターに VESA DPMS 標準を実装する必要があります。

省電力機能は、ユーザーの指定した時間内にマウスまたはキーボードが使用されなかったことをコンピューターが認識すると起動されます。下の表のように、いくつかの状態があります。

IBM は Energy Star 2000® パートナーとして、エネルギーの効率利用のために、本製品を Energy Star 2000 ガイドラインに適合させています。

最適なパフォーマンスを得るために、毎日の業務終了時、あるいはモニターを長時間使用しないときは、電源を切ることを推奨します。

状態	電源インディケータ	画面	回復操作	準拠
オン	緑色が点灯	正常		
アクティブ・オフ	オレンジ色が点灯	ブランク	キーを押すか、マウスを動かします。*	ENERGY STAR 2000

\* 画像が再び表示されるまで、多少の時間がかかる場合があります。

## 製品の廃棄処理について

LCD パネルのバックライトには少量の水銀が使用されています。地方自治体の条例または規則にしたがって廃棄してください。

# トラブルシューティング

モニターのセットアップ中または使用中に問題が生じた場合、ユーザー自身で問題を解決できる場合があります。販売店や IBM サポート・センターに連絡する前に、問題に該当する推奨処置を実行してみてください。

問題	考えられる原因	推奨処置	参照ページ
スクリーンがブランクで、電源インディケーターがオフ。	モニターに電源が供給されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コンセントとモニターの電源が両方とも入っていることを確認します。</li> <li>電源コードが、電源コンセントと電源装置にしっかり差し込まれているかチェックします。</li> <li>電源コードのプラグに交換可能なヒューズが付いている場合は、ヒューズを交換してください。</li> <li>別の電源コードで試してください。</li> <li>別の電源コンセントで試してください。</li> <li>パネルの裏の電源の接続状態を確認してください。</li> </ul>	『モニターの接続』(7 ページ)
スクリーンがブランクで、電源インディケーターが緑に点灯する。	輝度とコントラストが低すぎる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>輝度とコントラストを調整してください。</li> </ul>	『ユーザー・コントロール』(18 ページ)
スクリーンがブランクで、電源インディケーターがオレンジ色に点灯している。	モニターが省電力スタンバイ状態になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボード上の任意のキーを押すか、またはマウスを動かして回復します。</li> <li>お使いのコンピューター上の省電力ソフトウェアをチェックします。</li> <li>「」ボタンを押して、アナログ・モードとデジタル・モードを切り替えます。パネルのモードが、供給されている信号と一致しないモードの場合は、モニターはスリープ・モードに入ります。</li> </ul>	『省電力機能』(23 ページ)

**i** 画像に関する問題については、先に画像セットアップを再度実行してからこのセクションを参照することをお勧めします。多くの場合、これらの問題は画像セットアップによって解決します。詳細については、13 ページの『自動画像セットアップ』を参照してください。

問題	考えられる原因	推奨処置	参照ページ
スクリーンがブランクで、電源インディケータが 0.5 秒ごとに緑色に点滅する。	コンピューターの表示モードがモニターのサポート範囲を超えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サポートされている表示モードを使用するようにコンピューターを再構成します。</li> </ul>	『詳細情報』(22 ページ)
メッセージ「Check Signal Cable (信号ケーブルを確認してください)」が表示され、電源インディケータがオレンジ色に点灯されている。	モニターがビデオ信号を受け取っていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>信号ケーブルがコンピューターにしっかりと接続されているかチェックします。</li> <li>信号ケーブルのコネクターのピンが曲がっていないかチェックします。</li> </ul>	『モニターの接続』(7 ページ)
画像が不鮮明。	ビデオ信号にノイズがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>OSD の「Image Setup (画像セットアップ)」メニューを選択します。次に、「Manual (手動)」を選択して、「Clock/Phase (クロック/位相)」の設定を調整します。</li> </ul>	『ユーザー・コントロール』(18 ページ)
画像の色が褪色している。	「Color (カラー)」設定が正しくない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Color (カラー)」の設定を調整します。</li> </ul>	『ユーザー・コントロール』(18 ページ)
いくつかのドットが脱落、褪色、または明るいままになっている。	画面上に少数の脱落、褪色、または明るいドットが生じることがありますが、これは TFT LCD 技術固有の特性であり、LCD の欠陥ではありません。		

---

## ヘルプおよびサービス情報

**i** できれば、コンピューター  
のそばにいてください。技術  
サポート担当者が、電話を通し  
て、お客様とともに問題の解明  
に当たりたい場合があります。

**i** 本製品の最新アクセサリ  
のより詳しいヘルプ、最新  
ニュース、詳細情報は、以下の  
WWW でご覧になれます。  
[http://www.pc.ibm.com/us/  
accessories](http://www.pc.ibm.com/us/accessories) (英語のみ)

ユーザーご自身で問題を解決できない場合は、IBM 特約店または IBM 営業  
担当員にご連絡ください。

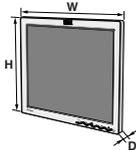
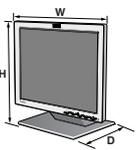
ご連絡になる前に、できるだけ次の情報をご用意ください。

1. ディスプレイの前面のラベルに記載されている型式と製造番号
2. お買い上げ記録
3. 障害の説明
4. コンピューターのタイプとモデル
5. システム構成（取り付けられているハードウェアなど）
6. システム BIOS のバージョン番号
7. オペレーティング・システムとバージョン番号
8. ディスプレイ・ドライバーのバージョン番号
9. ビデオ・アダプターのタイプ

# 仕様

**i** 電力消費量の数値は、モニターと電源の電力消費量を合計したものです。

本カラー・モニター（タイプ-モデル 9329-xx9）は、19.0 型の TFT LCD が使用されています。

スタンド無し		スタンド付き	
	高さ： 346.0 mm 幅： 408.0 mm 奥行き： 59.6 mm		高さ： 413.0 mm 幅： 408.0 mm 奥行き： 222.0 mm
重量	スタンド無し： スタンド付き：	4.2 kg 6.1 kg	
画像	表示可能画像サイズ： 最大高さ： 最大幅： ピクセル・ピッチ：	481.84 mm 376.32 mm 301.056 mm 0.294 mm (H) x 0.294 mm (V)	
電源	供給電圧： 定格電流：	100 ~ 240 V ac、60/50 ｱ 3Hz 1 A	
電力消費量	オン・モード： スリープ・モード： オフ・モード：	< 40 W < 2 W < 1 W	
ビデオ入力	入力シグナル：	アナログ -75 オーム 0.7 V	
	水平解像度： 垂直解像度： クロック周波数：	1280 ピクセル（最大） 1024 行（最大） 135 MHz	
	同期入力	タイプ アナログ - 別	
通信	VESA DDC：	DDC 1/2B	
サポートされる表示モード	標準モード： 水平周波数： 垂直周波数：	IBM、VESA、MAC 30 ~ 83 kHz 55 ~ 76 Hz	
環境	温度：		
	稼動時： 保管時： 輸送時：	10 ~ 35 �C -20 ~ 60 �C -20 ~ 60 �C	
	湿度： 稼動時： 保管時： 輸送時：	10 ~ 80% 5 ~ 95% 5 ~ 95%	

# 保守情報

---

以下のパーツは、お客様の保証をサポートするために、IBM サービス、または IBM 認定の販売業者が使用するものです。これらのパーツは、保守のためにだけ使用するものです。

## モデル・タイプ 9329-xx9

P/N	説明	ビデオ	カラー	MTM	地域
73P4590	FRU モニター	アナログ	ビジネス・ブラック	9329-AB9	全地域
73P4592	FRU スタンド	アナログ	ビジネス・ブラック	9329-AB9	全地域
22P9262	FRU ビデオ・ケーブル	アナログ	ビジネス・ブラック	9329-AB9	全地域
73P4593	ユーザーズ・ガイド CD			9329-xx9	全地域
73P4595	セットアップ・ガイド			9329-xx9	全地域

## 特記事項および商標

ここには、特記事項および商標に関する情報が記載されています。

### 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、または サービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権（特許出願中のものを含む）を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032

東京都港区六本木 3-2-31

IBM World Trade Asia Corporation

Licensing

**以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。** IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が 禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

---

## 商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM

IBM ロゴ

ThinkPad

ThinkVision

ENERGY STAR および ENERGY STAR ロゴは米国政府の登録商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標です。

©Copyright International Business Machines Corporation 2004. All Rights Reserved.

©Copyright IBM Japan 2004